

提 言 書

令和5年度予算に向けて

(1) デジタル化の推進について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や長期的な蔓延により、非接触型の行政事務などのデジタル化が求められている。

また、国では昨年9月、デジタル庁を創設し、デジタル社会の実現に向けた取組みを加速させており、地方もこれら国の動きに即応し、高齢者に対するデジタルデバイド（情報格差）に配慮しつつ、デジタル化の推進を図り、住民サービスの質的向上や業務の効率化、行政改革等にスピード感を持って取り組んでいくことが求められている。

このようなことから、当町においても、「デジタル化推進計画」に基づき、「マイナンバーカードの普及拡大」や「AI等を活用した業務の効率化」、「デジタルデバイド（情報格差）対策」など、行政分野のデジタル化の推進に向け、具体的な取組みを加速されたい。

また、議会と執行がともにタブレット導入に向けた準備を加速し、議会審議を停滞させないための資料提供やペーパーレス化、議会運営の活性化を図るためにも早期に具体的な取組みを調整されたい。

(2) コロナ禍等における地域経済への支援・強化について

新型コロナウイルス感染症の第7波の感染者は減少傾向にあるものの、未だに収束が見通せない状況にあることなどから、地域経済への影響が長期化している。さらにウクライナ情勢等による世界的な物流の混乱や加速する円安などにより、原油や原材料、食料価格が高騰するなど、地方の中小企業・小規模事業者等はもとより町民生活にも大きな影響を及ぼし、地域経済はさらに厳しい状況となっている。

このようなことから、国、県による補助事業等も十分に活用しながら、町独自の施策も検討し、地域の実情にあわせた経済支援施策の強化・拡充を図られたい。

(3) 町道127号線及び118号線の早期完了について

町道127号線は、県道坂本寄居線と男衾地区の国道254号を直線的に結ぶ、当町の荒川南岸の主要町道であり、町の将来の発展には必要不可欠の道路である。

また、町道118号線は、鉢形小園地区の住民の長年にわたる念願であるが、いまだにいつ完成するのか不透明な状態が続いている。まずは、今後の工事完成までのスケジュールを示し、町民の不安を取り除くべきである。

町道127号線及び町道118号線の完成は、広域的連絡機能を強化し利便性と安全性を向上させ、地域交通の円滑化を図ることになることから、あらゆる財源を検討し、早期の完成に努められたい。